

<p>●152 日本語の「ア」と「オ」にならぬよう *曖昧母音は[*]で表示しています *dogの場合の母音(o)は[A]で表示しています *automationの(au)は[ɔ]で表示しています (文字化けしていたらご連絡下さい) <b>1)スペルの (a)</b> (A) ストレスあり : ae / ei (B) ストレスなし : * / 時にaeのこともある <b>2)スペルの (o)</b> (A) ストレスあり : A (あくびのA) / ou (B) ストレスなし : * / ou <b>3)スペルの (au / aw/ al)</b> (A)ɔ (キムタクのオイのオ)</p>	<p>●次の単語を発音してみましょう。  <b>ストレスのある時の母音</b>は自分の感覚より大きめに口を開きましょう。注意が必要なのは<b>ストレスのない母音</b>ですね。口を閉じ気味にして、力を抜いた曖昧母音[* ウばい音]にしましょう。 August / because / contribute/ control / problem / attack / program /contingencies / completely / collective / allies  初日の授業で日本語の「オ」と発音したのが"co"で始まる単語に多かったです。「コ」ではなく「ク」ぼく発音しましょう。 ●今期は、音読の時にローマ字英語にならないようにすることを目指します。まずは、3つのタイプのアルファベットから始めます。</p>
<p>●153 <b>正しく音を取る</b> Evergrande's Bankruptcy の聴き取り 1) バッパロー heavily 2) which ??????? ブラックアウト 3) and フュー global fears about (解答は配布資料参照ください)</p>	<p>●「正しく音を取る」能力を伸ばしたい！ 今期も「<b>私の音取り注意リスト</b>」に書き足していきましょう。前期のリストも参照し、データが溜まれば自分の弱点の傾向が見えてきます。 そして是非ともお薦めしたいのが、録音した自分のパフォーマンスを聴くことです。これほど強力に「今の自分が学ぶべきこと」を的確に教えてくれる先生は見当たりません。</p>
<p>●154 <b>正しく音を取る</b> Zoom Staff Return to Officesの聴き取り 1) Oh, the irony that is Zoom. これが聴き取れなかった。</p>	<p>●音化け 冒頭のOhが??? 次の ironyも??? どんな風に聴こえましたか？音化けしますよね。どう化けたか、カタカナでもOKなので「<b>私の音取り注意リスト</b>」に書いておきましょう。そしてなぜそう聴こえたのか、直感的な分析でOKなので書いておきましょう。</p>
<p>●155 <b>正しく音を取る</b> Kades: 違う音に聞こえた  1) who ??? ヴァデン academic studies</p>	<p>●音化け 今回の音は、whoのあとが弱音で耳に届かず、vとdとnが耳に届きました。 <b>ヴデン</b> who <b>are involved in</b> academic studies リンキンぐしているのでヴァデンと聞こえてもおかしくない ●聞こえた箇所をもとに音を繋げて練習しましょう： vedin[ヴデン]→<b>vol</b>vedin→<b>involved</b>in→<b>are</b> invloved in</p>
<p>●156 <b>正しく音を取る</b> Kades: 違う音に聞こえた  1) The Japanese draft ?????? present?? was not acceptable.</p>	<p>●聞こえない。以下のA)~E)のように聞こえた。 どれがSST(意味・構文)上、正しいでしょうか？ 1)The Japanese draft A) of present was not acceptable. B) at present was not acceptable. C) that present was not acceptable. D) that presented was not acceptable. E) presented was not acceptable. ●正解はE)。文脈上、省略可能な「松本委員会により」を加筆するとよくわかりますね。 E)The Japanese draft <u>presented</u> (by the Matsumoto Committee) was not acceptable. ●上記の過去分詞presentedの箇所を関係代名詞に書き換えてみましょう： E-1)The Japanese draft <u>which/that was presented</u> (by the Matsumoto Committee) was not acceptable. ●上記E-1)の関係代名詞内を、今度は能動態に書き換えてみましょう： E-2) The Japanese draft <u>that they presented</u> was not acceptable. *they=the Matsumoto Committee</p>

<p>●157 <b>正しく音を取る</b></p> <p>Kades: 違う音に聞こえた</p> <p>1) We sent along <b>xx</b> English version <b>xx</b> notes <b>xxxx</b> margin <b>xxxx</b> how little was being done ~.</p>	<p>●リンキングで聞こえない言葉の代表：冠詞、前置詞 今回は文法と意味から迫って見ましょう。 A)(我々は、送った)英語版を： 文脈から <b>its</b> English versionか<b>冠詞</b> のどちらか B)メモを、余白に（書いて）： [GENIUS「欄外に意見を書いて write a comment in the margin」 <b>writing</b> notes <b>in the</b> margin /<b>with</b> notes <b>in the</b> margin C)(いかに何もなされなかったか)について <b>about</b> how little ~ / <b>as to</b> how little</p> <p>1)We sent along an English version with notes in the margin as to how little was being done~. または We sent along its English version, writing notes in the margin about how little was being done~.</p>
<p>●158 <b>正しく音を取る</b></p> <p>Kades:y: よく聞こえなかった</p> <p>1) Three of us organized <b>xxxxx</b> <b>xxx xxxxxx</b> committee</p>	<p>●動詞が取れた場合はGENIUSに用法を教えてください 動詞organize以降がよく聞き取れないので、GENIUSを開く。 文脈から「我々3人が運営委員会を組織した」という意味であろうから、以下の(A)にすればOK。 (A) [SVO] Three of us organized a steering committee. (B) [SVO+副詞句 from/out of/into/to]と言うパターンあり Three of us organized ourselves into a steering committee. (Kadesの英語はこっちだった)</p>
<p>●159 <b>正しく音を取る</b></p> <p>Kades 7: 聞き間違った</p> <p>1) a committee on the executive <b>one</b>, legislative <b>one</b> and Emperor...</p>	<p>●左記のように講師の耳には聞こえた 一体このoneは何か。the executive <u>committee</u>という意味でのoneだろうと思って書きました。その直前にa committeeがあるので変だなと感じつつも<b>"one"にしか聞こえない</b>のでそのままにしていました。 その違和感に気づいたのは自分のtranscriptsを「前だし訳」した時でした。音から離れて、英文として読み直して見ると、on theにした方がしっくりいくことに気づきました。 a committee on the executive, on the legislative, on the Emperor... ということで、今週のディクテーションの宿題も音から離れて「前だし訳」をしてみてくださいね。</p>
<p>●160 <b>正しく音を取る</b></p> <p>DOAC: Walter Issacsonのインタビュー</p> <p>1) Did they what <b>xxxxx</b> view <b>xxxxx</b> like as a leader?</p> <p>「リーダーとして彼らはどう見ていたか？」のように聴こえた。</p>	<p>●今回は interviewerの Steven Bartlettの冒頭の質問でした。英国英語で、しかも超高速。しかも言い直しまでありました。 1) 直訳すると「彼らは..... (ここで言い直し)。リーダーとして好かれることに対する彼らの見解は何か？」 (リーダーとして人に好かれることをどう見ていたか?) Did they....What <b>was their</b> view <b>on being liked</b> as a leader? *残念ながら、<b>青の部分を聴き取る</b>近道はありません。 毎週のディクテーションを習慣化することが着実な道のりです。 Kades 8でしたようにSSTして完成版を作る。願わくば、その作業が好きor楽しい！となれば最高。全然苦にならないからね。 *ディクテーションだーい好き！になったら報告して下さい。 今回クラスごとにSSTで何に注意を払ったか確認しました。それを以下にまとめました。</p>

<p>●161 <b>正しく発音する</b></p> <p>1) a completed draft of a constitution</p> <p>今期のテーマはスペル"a"と"o"の発音 下段152参照 実際に発音してストレスがどこにあるか チェックしましょう。</p>	<p>●曖昧母音は[*]で表示します。</p> <p>1)* k*mpli:ti ddraef tov* KAnst*tush*n コ→ク dをdraftが吸収 トゥヴァ コ→カ 発音記号がないので、悩ましいところですが、上記のような感じになります。 耳をよくするためには、発音がとても大事です。 リズムを心がけ、ここで取り上げた単語・句の発音をマスター しましょうね。それが次に繋がります！</p>
<p>●162 <b>使えない表現は聴こえない</b></p> <p>1) Does it mean (xxx) nice to people?</p> <p>Compassionとは一体どういう意味かを 尋ねる箇所でした。What does it mean? と言った後、上記の質問になりました。</p>	<p>●「それは、人に優しいという意味ですか？」 Does it mean ( ) nice to people?の括弧に入った解答は： (to) (by) (空欄) などでした。 meanは他動詞だから目的語をとるので、形容詞句の nice to peopleを名詞化すれば良い。つまり動名詞にすれば良いのです が、形容詞句を名詞化することに慣れていないと「？」になり ますね。 答えはクラスで確認した通りです。訳出復習 648参照。</p>
<p>●163 <b>語末の[t]音</b></p> <p>1) He made it very clear. 2) a draft of a constitution</p>	<p>●曖昧母音は[*]で表記します。</p> <p>1)語末の[t]音の後ろが子音の場合 He made it very clear. itの[i]が前のmadeにくっつき[meid* メイダ]のようになり、it の[t]音は舌先を上歯茎の裏につけるだけで発音しない。ある いは「ッ」と息が詰まったような感じにする。 通常、このような場合の代名詞itは聞こえません。</p> <p>2)語末の[t]音の後ろが母音の場合 a draft of a constituion draftの[t]音は後ろのofの母音[*]とリンキンぐし[t* タ]とな る。ちなみに ofの[v]音も後ろのaとリンキンぐし[v* ヴァ]に なるので、全体として：draef t*v*となる。 通常、このような場合「タヴァ」あるいは「トゥヴァ」と聞こえ るので、リンキングに慣れていなければ、意味が掴めないこと があります。</p>

1)リンキング音	a completed draft オヴァ constitution → draft of a constituion
2)語末の[t]音は聴こえない	We had a meeting schedule with them. → a meeting scheduled with them
3)目的語のitは聴こえない	We wanted to lay before them...→ layは他動詞→to lay it before them.
4)構文：次の品詞は何か	with Matsumoto, Foreign Minister was Yoshida, and two other Japanese.
をいつも考える	前置詞 withの後は名詞句で名詞節はダメ。たとえ本人がそう言っても修正
5)構文：句読点を聴き取る	with Matusmoto, Foreign Minister Yoshida, and two other Japanese
5)構文：句読点を聴き取る	The Japanese received that the next week this now completed draft
5)構文：句読点を聴き取る	言い直しのドット3つ：The Japanese received that...the next week～
6)名詞：数えられる名詞	全ての名詞は実態のあるtangibleな「数えられる名詞」というスタンスで臨むこと。
	必ず名詞の前に冠詞はないか、複数形ではないか確認し、辞書にあたる。